

03.ヤンデレ妹の調教乳首「コキ

なんすかー、せんぱーい。

なんでモジモジしてんです。

…だらしない？

はあ…いいじゃないっすかぁー、休みの日くらい。

寝っ転がってスマホで漫画が、あたしにとっては理想なんですよー。

先輩の彼女がだらしないのは、今に始まったことじゃありません。

…ていうか、誤魔化すの下手すぎでしょ。

バレてますよー。

あたしの太もも辺り、さっきからチラチラ見てますもんね。

そんなにパンツ見たいですか？

…いいですよ、別に。

ほらほらー、見ていいですよー。

足広げてあげましたよー。

あー…M字開脚？

とか言うんでしたっけ？

いいじゃないですかぁー、別に。

見せてあげるって言うてるんだし、気にしないんですからー。

恋人のスカートの中、食い入るように覗き込んでいいでしょー。

ほらぁー、どっするんですかー？

見ないなら、もっ足閉じちゃいますけど。

…ああ、ホントに見るんですね。

いやいいですよ。

気にしないって言うてるじゃないですか。

ただまあ…先輩、プライドとかないのかなーって。

こっやってちよっと色仕掛けしただけで、あっさり転がされてるし。

彼女の足の間に顔突っ込んで、パンツ見ながら興奮して…。

…息、ちよつとくすぐりたいんですけど。  
そんなにいいですか？  
私のパンツ。

…返事はしない癖に、息だけはドンドン荒くなるんですね。  
これが男の子の本性、ってことですか。

女の子にパンツ見せてもらったら、もうケダモノ…。

自分がどんなに浅ましくて惨めな姿してるかなんて、すっかり忘れてひれ伏しちゃう…と。

だってそうじゃないですか。

今の先輩の恰好、こつちから見るとまるで土下座ですよ。

パンツ見せてもらって私に土下座…。

奴隷って感じですよ。

じゃなきゃ犬ですよね。

ハアハアうるさいところも、ホント犬…。

ん…？

どーしたんですか？

犬、って言った瞬間、太ももにかかる息が荒くなりましたけど。

…なじられて興奮してるんですか？

ふうん…とんだ変態ですね。

変態マゾのダメ犬。

あーあ、本当に喜んでる

えーなんですか？

シテほしい？

…それって、セックスのこと？

セックスしてほしいんですか？

パンツ見せてもらっただけで犬になっちゃう、お手軽男子のくせに？

…するわけないでしょ。

今、いいところなんだから。

…あーでも、他のならシテあげますよ。

たとえば…太もとか。

あたしに覆いかぶさって、抱きついて…

おちんちん、太ももの間でくちゅくちゅ、シロシロ…。

自分で動いてくださいな。

漫画の邪魔しないでくれるなら、太ももコキ…させてあげますけど。

△SE:ズボンを脱ぐ音▽

うわぁ、即決…。

おちんちんすべ出しちゃって…。

…まあいいですよ。

じゃ先輩？

どうぞ…上から抱きついていいですよ。

おっぱいも貸してあげます。

ほら、おいで？

△SE:体制移動する 衣擦れ音▽

ん…そうそう、よく出来ました。

おっぱい気持ちいいですか？

…顔、あんまりスリスリしないでください。

邪魔ですから。

じゃあ、おちんちん太もものに差し込んで…はいはい。

それではどうぞ…

あたしに抱きついて、おっぱいに顔挟みながら、太ももでオナニー…  
頑張ってくださいな。

あんまり動き過ぎたらやめちゃいますけど。

…ほら、始めて。

△SE: 太ももコキくちゅ音開始 一二三から▽

んっ…ホントに腰振り出してっ。

先輩、それ気持ちいいですか？

後輩の女の子に…年下の彼女に、体を借りて必死に腰振り。

…悔しいとか、思わないんです？

だって、普通思っでしょ。

先輩は今、セックスのおねだり断られて、お情けで太もも貸してもらって…。  
犬真似オナニーしちゃってるんですよ？

しかも、読書の片手間に…。

こっちは楽でいいですけどね。

男のプライドとかないんです？

…ぐっぐっしてて、何言ってるかわかりませんよ。

反論があるなら、まずおっぱいから離れてくれませんか？

…離れないってことは、ないんですね、反論。

そうじゃない？

言いたいことあるんですか？

へえー…あるのに言えないんだ？

先輩はズいぶんワガママな犬…

うっん、むしろ…負け犬なんですわ。

だってそうでしょ？

こんな無様な恰好で、自分の意見ひとつ喋れない…。

私、別に先輩を抑えつけてるわけじゃないのに。

っていうか、体勢だけ見たら先輩の方が私を犯してるんですよ…？  
華奢な恋人を上から抑えつけて、おまんこめがけて種付けレイプ…  
傍から見たら、先輩、とんだ俺様気質の彼氏ですよわね。

なのに本当は……私に縋りついてる負け犬マゾ。

おまんこ使わせてもらえずに、太もも相手にセックスごっこ……。

馬鹿にされても、おっぱい気持ちよすぎて顔上げられない。

なんなら力任せに襲っちゃえばいいのに、それも出来ずに負け犬オナナ。

…本当にわかってますか？

今の先輩、そういうことですよ。

自分で負け犬になってるんですから。

文句があるなら言い訳してみせてくださいよ。

ほら……何か言ってみて。

…言えよ、マゾ犬。

これが最後のチャンスですよ、先輩。

三つ数える間だけ時間あげますから、合図したらちゃんと反論してくださいね。

いいですか？

…聞くまでもないですね。

先輩だって男の子なんですから。

女の子相手にこんな負け方しちゃうなんて、不本意ですよね。

…じゃ、数えますよ。

さあーん……にーい……いーちい……。

…そこで負けてろ、クソマゾ。

はい、時間切れ！。

…どうしました、先輩？

腰止まっちゃったのはいいけど、相変わらずおっぱいに抱きついたまま……。

っていうか……なんかさつきより強く抱きしめてません？

全身ビクビクさせてるし……ねえ、どうしたんですかあー？

ちゃんとやってくれないきや、わからないんですけどおー？

な—んて。

実はわかってますよー。

先輩がどうしちゃったのか。

なんで必死にしがみついて、プルプル震えてるのか…。

射精しそうになってるんでしょ？

クソマゾ、って呼ばれて…。

負けろ、って言われて…。

今動いたら射精しちゃう…射精したら、もう言い訳できない…。

本能で勝ち負けがわかつちゃって、だから動けないんだ…？

惨めですねえ…。

でもあたし、そうなった先輩見たいなあ…。

太ももに負けて…顔真っ赤で泣きべそかいてる先輩…見たいんですよえ。

…イヤですか？

負けたくない？

そうですねえ…でも残念。

ちようど今、漫画読み終わっちゃったんですよ。

あたし、次の暇つぶし探してるんです。

だから…。

暇つぶしに、先輩のおちんちん…ボコボコに負かしちゃいますね。

ほおーらあ、くちゅくちゅくちゅー…。

うわあ…ホントにイきかけてたんですねえ。

あたしの太もも、ぬちゅぬちゅ音しちゃってる…。

どうしてくれるんですか？

毎日ケアしてる足、こんなに汚してくれちゃって…

きたないガマン汁でぬるぬるですよ

責任、とってくださいよー

んん…？

なんですかあー、せんぱあーい。

らめえ…らめえっ、止めて止めてえっ…て？

今さら何言ってるんですかあー？

元々、射精するためにやってたんでしょー？

それともなんですか？

太ももにおちんちん擦りつけてたら、

あたしまでその気になって、セックスしてくれる…とか？

そんな淡い期待でも抱いちゃってましたかあ？

はあ…するわけないでしょ。

暇つぶしって言うてあげたの、もう忘れちゃいました？

先輩の射精なんて、あたしにとって暇つぶしなんですよ。

あーはいはい、うるさいですよー。

静かにしてくださいねー。先輩

うるさい彼氏さんのお口は、後輩の口で塞がれちゃうんですよ。

どうですかー？

嬉しいですかー？

って…あーあ、もう先輩ダメですね。

完全に心がオチちゃってますね。

太ももで責められて、べろちゅーされて、もう完全に屈服しちゃってる。

…先輩？

潔く負けを認めるなら、…キスでいかせてあげますよ？

…キ・ス。

先輩にお射精の合図を送っちゃう、優しい口づけ…。

甘いキスと柔らかーい太ももでぴゅっぴゅお射精…。

したくないですか？

したいなら、ちゃんと頷いてくださいね？

先輩はあ…あたしに負けちゃったんですか？

…ほら頷け。

…はい、いい子いい子。

ちゃんと頷けましたね。

じゃあ先輩、お顔上げてー？

…ちゅっちゅと負ける、クン・ム・ム・ぐ。  
んー、ちゅっちゅ…ちゅっちゅっ♡  
ちゅっちゅっ、ちゅっちゅっちゅっちゅっ…ちゅっちゅっ♡

《射精》

はいい、ぴゅっぴゅっぴゅっ—♡  
出ちゃってますねえー。

抱きしめられながら、精液とぴゅとぴゅと、ぴゅるる—♡  
あーあ、太ももベタベタ…めんどくさいなあ。

…先輩？

はあー…聞こえてないみたいですね。

ま、いいですよ。

暇つぶしにはなりましたから。